

## 県 関 係 文 献 紹 介

### ○ 玉起彰三 「六甲山博物誌」

(のじぎく文庫. 1997. 246p. 神戸新聞総合出版センター刊)

六甲山に生息する様々な動植物, 厳しい自然環境, その自然と共生しながら山に暮らす人々の姿, そして連山にまつわる伝説や歴史など生きた博物館でもある六甲山の魅力を満載とある。

昆虫に関しては, セミとかトンボ, クワガタムシ, チョウと出てくるが, いわゆる一般の人々向けに書いてあって今一つつこんだ記述になっていないので, 大変物足りない印象を受ける。

著者は六甲高山植物園学芸員。(T).

### ○ 「里山の自然を学ぼう！」

～兵庫の里山探訪ガイド～ A5, 64p.

1997. 社団法人 兵庫県森と緑の公社刊。

兵庫県内の23カ所の里山のシイ, コナラ林など落葉樹の分布を等高線で色分けし, 生息する生き物も写真入りで解説されている。と云っても昆虫は残念ながらギフチョウだけで, 文中にオオムラサキ, カブトムシ, クワガタムシの名は出てくるが, どうも編者は昆虫に就いてはあまり関心の無いと云うか昆虫の分かっていない人たちではないかと思われる。大変きれいな気持ちの良い本だけに残念である。3,000部を印刷, 無料配本すること。郵送希望の場合, 公社に申し込みれば200円で送ってくれる。(公社住所は, 神戸市中央区中山手通7丁目28番33号)

(もともと, この案内は1998年1月24日の神戸新聞紙上に載ったもので, 既に品切れになっているかもしれない) (T).

### ○ 相坂耕作 (1997. 12) 「播磨の文化財と虫」

文化財の虫菌害(34) : 38-48.

相坂耕作氏が「文化財の虫菌害34号」に発表になった播磨の文化財にまつわる虫を題材にした播磨学的解説が述べられている。なかなか面白いが, 一般向けの機関誌ではないようなので, 眼にふれる機会が難しい報文であるのが残念である。貴重な別冊を御恵送下さった相坂氏に厚くお礼申し上げる。

(T).

### ○ 1998. II. 佐用ライオンズ環境保全委員会刊

「千種川の生態 第25集[特集号]」 B5, 33p. 4付図

平成9年度千種川生物調査報告をまとめてある。既にこの「千種川の生物」調査は, 昭和45年(1970)から始まっており, その調査結果は「千種川の生態」として第1集(1973)～第25集(1998)の長きにわたって継続出版されている。この間, 千種川生物研究会会長・兵庫県立昆虫館館長の内海功一先生(本会会員)の技術指導によってまとめられており, その息の長さに敬服すると共に千種川の生物の消長がわかり, 大変貴重な記録としてわれわれの参考になる所大である。(T).

## ○ 「ひょうご こんちゅう かるた」 (1997)

文献ではない。兵庫県小学校教育研究会理科・国語の両部会が、「兵庫の昆虫かるた」を二年がかりで作成した。県内に生息する44種類の昆虫を取り上げ、カラー写真を取り札にしてある。写真は両部会の小学校教諭メンバーが撮影し、一部だけ神戸市立森林植物園などから提供を受けたとのこと。いずれもキレイな写真で、ウツギノヒメバチ、ヒメタイコウチ、ギフチョウ、ハッチョウトンボ、オオムラサキ、グンパイトンボ、オオクワガタ、ルリボシカミキリ、キベリハムシと珍しい種が含まれていて大変楽しいカルタであるので此処に紹介した。

(かるた1組 ¥1,500, 甲南出版社販売) (T)。

## 県関係学会誌・同好会誌・連絡誌

(IX・1997 — III・1998)

兵庫生物ニュース (兵庫県生物学会連絡誌) No. 31 (IX・1997), No. 32 (XI・1997)

混蟲ずかん (但馬むしの会連絡誌) No. 59 (X・1997), No. 60 (XII・1997), No. 61 (II・1998)

兵庫陸水生物ニュース (兵庫陸水生物研究会連絡誌)

No. 11 (VII・1997), No. 12 (X・1997), No. 13 (III・1998)

のせ (大阪昆虫同好会連絡誌) Vol. 26, No. 8~11 (VII~XI・1997),

Vol. 26, No. 12, 13, Vol. 27, No. 1 (I・1998), Vol. 27, No. 2 (II・1998)

姫昆サロンニュース (姫路昆虫同好会連絡誌)

No. 126 (XI・1997), No. 127 (I・1998), No. 128 (I・1998)

IRATSUME (但馬むしの会々誌) No. 21 (XI・1997)

自然とともに (兵庫県生活文化部環境局環境政策課自然環境保全室) No. 40 (XII・1997)

エコひょうご (ひょうご環境創造協会) No. 6 (冬号) (XII・1997)